

ケータイ利用のライフスタイル・アプローチ I

シニアのライフスタイルとICT利活用の時系列考察

○水野 一成 (NTTドコモ モバイル社会研究所), 飽戸 弘 (東京大学名誉教授)

キーワード: シニア, ライフスタイル, ICT, スマートフォン

1. 研究背景

高齢化率が27.3% (内閣府、2016) となり、超高齢社会がもたらす、さまざまな諸問題も深刻化している中、シニアがより豊かに生活するために、ICTは何ができるか、モバイル社会研究所では2015年より60・70代に対し、本格的な調査を始めた。調査は2015年、2017年、2018年と3回実施。本報告では2018年に実施した調査結果を中心とし、合わせて2015年調査とも比較し時系列的考察を行う。

2. 調査概要

調査時期: 2015年10月、2017年1月、2018年1月
対象: 関東1都6県 60-70代 調査方法: 訪問留置

3. 調査結果

シニアの日々の活動状況を調査するため、モバイル社会研究所では各種の先行研究、各自治体や民間が主催するカルチャースクールを参考に、地域での活動2項目、カルチャースクールでの活動2項目、人との交流2項目を設定し、オリジナルの「シニアの日々の活動スケール」を設定した。同スケールの回答結果を元に、因子分析・クラスタ分析を行った結果は表1.2の通りである。それぞれの単集計 (参加・交流している) では、全6項目とも、2015年からの変化は小さい。しかしながら、因子・クラスタ分析を行うと、「仲間家族交流」が大きく減り、アクティブな活動をおこなっている「積極派」「教室いきいき」と、全ての活動・交流をあまり実施していない「消極派」が増える結果となった。ここから推察されるに、シニアの日々の活動は二極化が進行している可能性があることが示唆された (表3)。

表1 シニアの日々の活動の因子分析

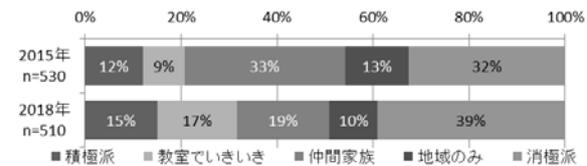
	教室活動	社会活動	仲間家族
体を動かすカルチャースクールへの参加	.698	.157	.206
学芸・学術、カルチャースクールへの参加	.546	.225	.214
地域活動への参加	.122	.645	.149
奉仕活動への参加	.228	.633	.120
家族との交流	.147	.104	.636
仲間との交流	.342	.229	.605

表2 シニアの日々の活動クラスタ

クラスタ	積極派	教室でいきいき	仲間家族交流	地域のみ	消極派
日々の活動					
教室因子	0.62	1.14	-0.39	-0.36	-0.44
社会活動因子	1.32	-0.32	-0.23	0.75	-0.46
交流因子	0.49	0.39	0.83	-0.80	-0.56
サンプル数	77	85	98	51	199
構成比	15%	17%	19%	10%	39%

次に、この日々の活動とICT利活用について、見てみる。2015年から2018年の間に特筆すべき、状況の変化は、スマートフォンの所有率が16%も高くなったことである。これを日々の活動クラスタと合わせてみると、「消極派」だけがほぼ変わらないが、他のクラスタは2割強高くなった。では「消極派」以外のクラスタは同じようにICTと接しているだろうか。それを確かめるため、代表的なICTサービスを15例示し、利用の有無を聞いた。その結果、「積極派」は動画やSNSの更新発信など、様々なサービスを利用している (上級) 割合が高い。同じく、「教室でいきいき」も上級利用が多いが、通話・メール中心である、初級利用者の割合も高い。また「地域のみ」は初級利用の割合が高い。さらにスマホの利用期間も日々のクラスタによって差異が見られた (表4)。

表3 シニアの日々の活動クラスタの時系列変化



次に、この日々の活動とICT利活用について、見てみる。2015年から2018年の間に特筆すべき、状況の変化は、スマートフォンの所有率が16%も高くなったことである。これを日々の活動クラスタと合わせてみると、「消極派」だけがほぼ変わらないが、他のクラスタは2割強高くなった。では「消極派」以外のクラスタは同じようにICTと接しているだろうか。それを確かめるため、代表的なICTサービスを15例示し、利用の有無を聞いた。その結果、「積極派」は動画やSNSの更新発信など、様々なサービスを利用している (上級) 割合が高い。同じく、「教室でいきいき」も上級利用が多いが、通話・メール中心である、初級利用者の割合も高い。また「地域のみ」は初級利用の割合が高い。さらにスマホの利用期間も日々のクラスタによって差異が見られた (表4)。

4. 考察

今回、ライフスタイルの違いにより、ICT利活用が異なることが示唆された。シニア世代がより豊かな生活を送るために、ICTがどのような形で貢献できるか、ライフスタイルに基づき、利活用状況を見ながら、考えていくことが重要であろう。

表4 シニアの日々のクラスタとICT利活用状況

クラスタ	積極派	教室でいきいき	仲間家族交流	地域のみ	消極派	平均	
スマホ保有率	56%	58%	49%	45%	34%	45%	
2015年比	+22pt	+24pt	+20pt	+24pt	+1pt	+16pt	
ICT利用	上級	35%	35%	31%	30%	25%	31%
	中級	56%	41%	58%	35%	53%	50%
	初級	9%	24%	10%	35%	22%	19%
スマホ所有時期	1年未満	14%	20%	4%	35%	7%	7%
	1-3年未満	43%	31%	33%	20%	38%	38%
	3-5年未満	19%	22%	23%	30%	23%	23%
	5年以上	24%	27%	40%	15%	32%	32%